

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和7年8月1日発行

6月定例会
5月臨時会

No. 125



令和7年度補正予算などを可決・・・P2

一般質問には12名が登壇・・・・・・・・・・・・・・・・P4

各常任委員会の審査状況・・・・・・・・・・・・P10

令和7年度第1回目の市民と語る会を開催・・・P12

上沼地域で行われた市植樹祭では多くの参加者による植樹が行われました。

6月定例会
5月臨時会

教育長人事案を原案同意
デジタルプレミアムペイ発行事業費を含む補正予算案を可決

6月定例会

主な議案の審議内容

令和7年第5回定例会を6月6日から27日までの22日間の日程で行いました。4月に就任された笹本市長より施政方針が示されたほか報告5件、議案7件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員が提出した発議3件についても、原案のとおり可決しました。

放棄した債権の報告について
質問 消滅時効により放棄した債権について、何年の時効の援用によるものか。
答弁 時効の援用ではなく、債権者や保証人の死亡、居所不明等によるものとなる。

質問 これまでどのような債権回収に努めてきたのか。
答弁 滞納繰越とならないよう徴収に努めるとともに、滞納者に対しては債権の台帳管理、督促・催告等の法的な通知送付、さらに財産の調査及び差押えなどの対応をしている。

質問 交流センターの改修に至った経緯は。
答弁 建築から40年経過し、外壁・設備が経年劣化していることから、今後長く使用していくために、今年度・来年度の2か年で改修する。トイレ洋式化や空調設備、外壁、建具等更新を予定している。

質問 文化財保存事業のデジタルアーカイブシステムは、今後どのように活用されるのか。また、運用コストは。
答弁 今年度は鹿角市史をデジタル化し、検索・閲覧可能とするためのシステム構築をする。その後、市の文化財について順次作業を進めていく。また、運用コストは、システ

質問 地方財政の充実・強化に関する意見書
答弁 最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書

質問 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2026年度政府予算に係る意見書

議会から
関係機関への意見書
6月27日の本会議において、議員より提出された意見書3件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

5月臨時会
令和7年第4回臨時会を5月23日に行い、市長より議案12件が上程され、原案のとおり可決しました。

本臨時会における議案の審議結果は次ページに掲載しています。なお、本臨時会において同意された人事案件は、次のとおりです。

人事案件
○監査委員
中山一男 氏

○教育委員会委員
田中喜昭 氏
(再任)

主な議案の審議内容

令和7年度鹿角市一般
会計補正予算(第1号)

令和7年度鹿角市一般
会計補正予算(第2号)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

○教育長
阿部義弘氏(再任)

質問 八幡平地区でデマンドタクシー実証運行を開始するようだが、乗り合いより日本版ライドシェアのような方式が馴染むのでは。また、車両購入と

のことが、リースと
しなかった理由は。

答弁 バス路線の廃止に
より、八幡平市民
センターより南の地域
を対象として運行を開
始する。昨年より地域
で協議の場を設けて取
り組みを進めている。

初めはタクシー事業者
に委託するが、将来的
には地域の協力を得な
がら住民に運行をお願
いする予定である。

国の補助金が初年度
のみ対象となるため、
車両はリースでなく購
入とした。

質問 デジタルプレミア
ムペイ発行事業は

ハミングカードを利用

するようだが、紙の商
品券は発行しないのか。

答弁 デジタル商品券の
みとしている。紙

の商品券より手間もコ
ストもかからず、また
前回の発行事業の際、
50代以上の利用率も高
く、年代による支障は
生じないものと捉えて
いる。

質問 デジタルプレミア
ムペイ発行事業、

省エネ家電購入支援補
助金などの施策は、恩
恵を受ける者が限られ
るが、市民への公平性
は保たれているのか。

答弁 物価高騰による買
い控えの影響を受
けた店舗への支援とし
て、積極的に参加いた
だくことで公平性は保
たれると認識している。

また、省エネ家電へ
の更新を補助すること
で、広く省エネの普及
を促進したい。

令和7年第5回定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審議結果
繰越明許費繰越計算書について(鹿角市一般会計)	報告
事故繰越し繰越計算書について(鹿角市一般会計)	報告
予算繰越計算書について(鹿角市上水道事業会計)	報告
予算繰越計算書について(鹿角市下水道事業会計)	報告
放棄した債権の報告について	報告
教育長の任命について	原案同意
指定管理者の指定について(水晶山スキー場)	原案可決
鹿角市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
令和7年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
◇議員提出議案	審議結果
地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案可決
最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	原案可決
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2026年度政府予算に係る意見書の提出について	原案可決
◇請願	審査結果
地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願	採択
◇陳情	審査結果
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択
「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情	不採択
ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げを図るための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採択
再審法改正(刑事訴訟法の一部改正)の意見書の採択を求める陳情	継続審査

令和7年第4回臨時会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審議結果
専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)	報告
監査委員の選任について	原案同意
教育委員会委員の任命について	原案同意
専決処分の承認を求めることについて(鹿角市市税条例の一部を改正する条例)	承認
専決処分の承認を求めることについて(鹿角市スキー場条例の一部を改正する条例)	承認
専決処分の承認を求めることについて(鹿角市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鹿角市一般会計補正予算(第13号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鹿角市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鹿角市上水道事業会計補正予算(第3号))	承認
専決処分の承認を求めることについて(令和6年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第5号))	承認
令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第1号)	原案可決

問 今後の高齢者単身世帯への支援策は。

日常生活を支援する軽度生活援助サービス、地域でのわいわいランチ活動、冬期間の住宅除排雪支援事業、地域包括支援センターによる訪問など、きめ細やかに支援していく。



これからの介護について

問 高齢化と共に認知症の割合も増加すると考えられるが、今後の対策は。

答 認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、県内初のスロースポッピング等のほか、認知症高齢者見守り事業や、市内106か所の事業所との協定締結による高齢者等見守りネットワーク推進事業に取り組んでおり、今後も地域での見守り活動の拡大に力を入れていく。
また、認知症基本法

の基本理念を踏まえ、

市民が認知症を正しく理解し、地域で温かく見守る体制を構築し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「やさしい地域づくり」を目指す。

骨髄バンクドナーの継続的確保に向けた取り組みについて

問 造血幹細胞移植に対する市民の理解を深める施策について、市の取り組みは。

答 骨髄バンクの主な窓口は県内各保健所等であり、市は関係機関と連携し、ポスター掲示やパンフレット設置・配布のほか、ドナー登録の窓口となる市内巡回献血を推進するなど周知に取り組む。

質問した項目

- 2025年問題について
- これからの介護について
- 骨髄バンクドナーの継続的確保に向けた取り組みについて
- 災害時における避難所対応等について（スフィア基準に基づく対応について）ほか



録画配信はこちらから

兎澤 祐一 議員 (鹿真会・公明)

質問時間 60分

問

消防操法訓練大会のあり方の見直しと、分団にかかる負担軽減が必要ではないか。出場隊数の上限を見直すなど対応しているが意見を踏まえながら協議・検討していく。



災害対策について

問 消防団が災害活動時に使用する手袋やヘッドライト、防寒具、防煙マスクなどの装備が不十分であり、定期的な支給が望まれる。また、消防出初め式における服装の見直しを求めるが、市の見解は。

答 装備品の整備を計画的に進めており、現在更新中の高視認性活動服・雨具の整備とともに、出初め式での服装の見直しを検討していく。防護マスクについては導入に向

答

質問した項目

- 市長の方針について
- 災害対策について
- 空き家対策について
- 廃校や利用の少ない施設の利活用について

廃校や利用の少ない施設の利活用について

「冬季や悪天候時に子供たちが安心して遊べる屋内施設が欲しい」との声が多くあるが、廃校を改修し、室内遊具施設として整備できないか。

答 鹿角市子ども計画策定にあたり実施したアンケート調査や子ども・子育て会議において、子供の遊び場を望む声が多数ある。

どのような遊び場が必要とされているか、子育て世代が重視する点を把握するとともに、既存施設とのすみ分けを整理し、令和11年度までの計画期間中に検討を進めていく。



録画配信はこちらから

問 医療ビジョンを策定する予定のようだが、どのように進めていくのか。

答 将来的に地域に必要な医療環境を明確にし、課題の洗い出しと解決に向けた取り組みを整理し、おおむね10年後を見据えた内容で策定する。



市長の市政運営に対する施策や基本方針について

問 国内外から投資されるまちづくりを、目指す考えのようだが、投資されるまちは。

答 経済的な活力にあふれ、将来の成長性に期待が寄せられるまちである。そのため本市が有する多様な資源や特性を生かして、地域の強みを最大限に引き出し、競争力と魅力を磨き上げ、企業や投資家から「このまちでビジネスを展開したい」と思われるブラン

旧十和田高校を含む市内の県の施設について

問 旧十和田高校の施設の利活用について現在の状況は。

答 校舎等については利用の見込みはないと県に伝えており、跡地の利活用は、実施中の市民アンケートで取得の是非、取得の場合の活用方法について市民の意向を確認していく。野球場については市の方針決定まで有償貸付になるとの意向が示され、総合計画等の中で慎重に判断するため一旦白紙とした。

ド力を向上させることが重要と考える。一つの例として、情報インフラ整備の誘致に大きな可能性があると考えている。



質問した項目
 ■市長の市政運営に対する施策や基本方針について
 ■旧十和田高校を含む市内の県の施設について

成田 哲男 議員 (誠心会)
 質問時間 30分

問 投票所の削減が投票率を下げる施策であってはならないと考えるが、46か所から7か所への再編は正しい選択であったと思われるか。

答 有権者数の減少や立会人確保の問題もあり、当時の判断としては間違いではなかった。当



選挙の投票率が下がり続けていることでの市政への影響と有効な対策について

問 今回の市長選投票率を受け、次期選挙までにどのような対策を取られるのか。

答 投票率低下は、投票環境とは別要因と推察するが検証を進め、対策を講じる。7月の参院選では、巡回式期日前投票所の場

問 計画地域は市の植樹祭や植林活動が行われていることなどから市民の理解が深まるまで作業停止か建設場所等の再検討を求めたい。

答 慎重な調査を要すると判断した場合、環境保全審議会に諮り、必要に応じて市の意見として追加する。また、市民の理解が重要であり、真摯な対応を求めるとも意見書に記載したい。



質問した項目
 ■選挙の投票率が下がり続けていることでの市政への影響と有効な対策について
 ■鹿角市東部通称青垣山における風力発電事業について
 ■風力発電と鹿角市景観条例について

丸岡 孝文 議員 (無会派)
 質問時間 60分

鹿角市東部通称青垣山における風力発電事業について

また、市民の理解が重要であり、真摯な対応を求めるとも意見書に記載したい。

録画配信はこちらから

一般質問 成田哲男議員(誠心会)

一般質問 丸岡孝文議員(無会派)

問 改正鳥獣保護管理法について、市の対応は。生活圏でも市長判断で、避難等の安全確保後、銃による捕獲が可能となり、猟友会では約20人が緊急銃猟実施者の要件を満たす見込み。今後、も猟友会を通じて実施者確保に努める。

答



問 熊・有害鳥獣対策について

答 自治体職員ハンターとして、一定の捕獲経験を積ませた市職員の育成・配備を進めるべきではないか。

問 熊などが市街地等に出没した際は、市、県警のほか、猟友会会員が参集し、事態の収束に向けて協力して対応している。猟友会からは、周辺の環境や状況、経験から熊の行動を予見し、対応への助言をいただいております。現場対応の要として活躍していただいている。現在、猟友会を

中心として緊急銃猟の実施に向けた体制が構築できていると考えている。

問 リスクエリアの可視化と住民連携（出沒マップ・整備支援）について、市の取組状況と今後の方針は。

答 リスクエリアの把握、情報共有については、地域の要望に応じ自治会、県、専門家と市が対応を話し合う「集落診断」を実施しており、これまで八幡平の湯瀬や谷内地域で実施している。また、緊急ツキノワグマ誘引樹木伐採事業費補助金のほか、自治会等での緩衝帯整備や草刈りにも活用できる事業も周知し、実施に向けて調整を行っている。



録画配信はこちらから

質問した項目
■熊・有害鳥獣対策について

館花 一仁 議員 (鹿真会・公明)

質問時間 30分

問 少子化により給食センターに余剰が見込まれる。鹿角高校への給食提供ができないか。高校への提供は職員配置、設備等課題がある。まずは小中学校の給食無償化に向けた検討を優先して進めていく。

答



問 地域コミュニティの維持と協働パートナーとしての地域づくり協議会のあり方について

答 市長の掲げる支え合うまちづくりのため、地域づくり協議会の役割は大きい。職員の待遇が低く担い手不足に陥っている。待遇改善が必要ではないか。

問 平成17年度の設立以降、地域の主体的な活動のサポートとして尽力いただいている。直近では令和5年度に待遇改善をしたものの、最低賃金上昇や地域づくりの重要性

の高まりなどを考慮し、来年度に向けて待遇改善の検討を行っていく。

問 十和田中学校野球場の排水状況に問題があり部活動に支障がある。代替地として旧十和田高校野球場の利用ができないかとの声があるが、県との協議の進捗状況を伺う。

答 県との交渉過程において、当初、野球場は無償譲渡を検討されていたが、県の方針として校舎等と一体で取り扱うこととし、市の利活用方針が定まるまでは、野球場は有償貸付で対応したいとの意向が示されたことから慎重に検討している。



録画配信はこちらから

質問した項目
■市長の施政方針について ■子育て環境の充実について
■未利用県有財産の活用について
■有害鳥獣対策について ■地域振興対策について
■市有財産活用の見直しについて

赤坂 勲 議員 (新時代かづの)

質問時間 30分

問 鹿角高校が統合したことで、遠い学校に通うことになった生徒の通学バスの利便性を考慮して増便できないか。

答 冬季の増発対応等の調整を進めており、状況を見極めながら必要な対策を検討していく。



問 本格実施に向けて、市内対象施設での保育士の配置状況や処遇改善・人材確保策について伺う。

答 保育士の人数等状況に応じた方法が選択できるため、施設に無理のない範囲で受入態勢を整え、保育士の負担が増加しないよう配慮していく。また、保育補助者雇上強化事業による保育補助者の確保を支援するほか、子ども未来事業団が働

きやすい職場環境づくりに努め、厚生労働省「えるぼし認定」を取得しており、今後も法人を後押しする施策も含め、国・県の動向を注視し、改善策を検討していく。

問 害虫駆除についてアメリカシロヒトリは今後も大量に発生することが懸念される。効果的な早期駆除の対応ができるように市で取り組んでいただきたい。

答 市では、自治会等で薬剤散布ができるよう各市民センターで動力噴霧器を貸し出ししており、必要な場合には専門業者に依頼することができるようホームページなどを活用し広く周知に努める。

質問した項目
 ■害虫駆除について ■子ども誰でも通園制度について ■鹿角高校の通学バスについて



録画配信はこちらから

保田 直美 議員 (無会派)
 質問時間 30分

問 今後の分娩機能再開に向けた取り組みについて鹿角市としての方針は。

答 安全な分娩機能を維持・確保するためには、集約はやむを得ず、かづの厚生病院での再開は難しいと考える。



質問した項目
 ■鹿角の小児科・産婦人科医療の今後について ■教育に関して ■男女共同参画、育児休暇制度について

問 不登校対策として、市内小中学校でも全児童生徒に配付しているタブレット端末を利用したオンライン授業やメタバース授業などはできないか。

答 別室にてオンラインで参加するリモート授業の取組事例があり、希望に応じて対応できる体制を整えている。また、学習用端末を持ち帰り、インターネット上で連絡を取り合うことを可能とし、学級担任と児童生徒のつながりを持ちな

がら支援を行っている。メタバース授業に関しては、不登校児童生徒のニーズも踏まえたいうえで、慎重に検討していく必要がある。

問 男女共同参画・育児休暇制度について市役所職員の育児休暇取得率の過去5年の推移は。また市長は、首長の育児休暇取得に関して、どのように考えているか。

答 市職員の過去5年間の育児休暇取得率は、女性100%、男性25・9%だが、令和5・6年では男性が62・5%と取得割合が向上している。また、自身(市長)も必要な場合には時間をいただこうと考えている。



録画配信はこちらから

問 市長がどの分野に特に重点を置き、市政を進めようとしておられるのか伺う。

答 地域の活力回復と市民福祉の向上、「選択と集中」でバランスの取れた財政運営を進める。



問 現行の広報配布体制とその課題について

答 広報かづのは、希望者への戸別配布、公共施設での拠点配布、高齢者への見守り配布を組み合わせた分散型を提案するが市の考えを伺う。

問 広報配布方法については各自治会から多大なご協力をいただいておりますが、ご負担をお掛けしていることは承知しているが、広報配布を通じて住民の見守りや地域のつながりが育まれているとの声もいただいております。

ご提案の分散型配布については、慎重に判断すべきと考えている。

行政手続きのデジタル化と市民の利便性の向上について

問 本市の行政手続きのオンライン化やアプリ導入の方針、公式LINEの利用状況を伺う。

答 市LINE公式アカウントでは新着情報やイベントのお知らせ、災害情報等を随時配信している。随時作成できるフォームが増えたことから、オンライン手続きを順次拡大中である。利用者の増加と利便性の向上を図るため、ごみ出しの通知が届く機能を構築中であり、運用開始に向けて周知を強化する。

質問した項目

- 市長の市政ビジョンと今後の重点政策について
- 「広報かづの」の配布の現状と今後の体制について
- 行政手続きのオンライン推進について



録画配信はこちらから

安保 真希 議員 (無会派)

質問時間 30分

問 労働需給の最適化について、副業禁止の企業も多いが市としてどのように取り組む考えか。

答 女性、若者が働きやすい職場環境の推進とともに、既に副業・兼業を進める企業の実例等情報を提供していく。



問 AI技術を活用した市役所業務などの効率化について

答 今後さらに進歩するであろうAI技術の影響は計り知れない。人口減少率の高い本市こそ積極的に導入すべきと考えるが、市役所業務に導入する考えはないか。

問 令和3年度にAI議事録作成ツールを導入。令和4年度にAI文字認識ツールを導入し、ワークシンの大量の予診票やその他帳票でも実証を行った。また職員向けに生成AIの導入を検討している。

答 Iの導入を検討している。引き続き、他自治体の先進事例や技術動向を注視し、最も効果的な形で導入する。

問 市の財政健全化について

答 公共施設の圧縮を進める上で、市民の理解を得るため、早期にロードマップを作成し、対話を重ねる必要があるのではないか。

問 公共施設等総合管理計画の見直しにおいて、持続可能な施設保有総量のシミュレーションを行っている。

答 有限の行政資源で将来にわたり活力向上、市民福祉の増進を図るため、施設の縮減を進めていく。早い段階で令和12年度までの方針を示したい。



録画配信はこちらから

問 若者の政治参画に「少年議会」や「ユースカウ
ンシル」などの仕組みが必要ではないか。
既存事業との差異などを踏まえ、先進地事例等
も参考にし、広く提案を受けながら検討してい
く。

答



**地域の未来を担う若者の
政治参画を育む仕組みの
構築について**

問 若者が「自分のま
ちに関わりたい」
と思える仕組みとし
て、政治・地域参画を
促す場づくりの必要性
や意義について、市の
認識を問う。

答 本市の将来を担う
「未来世代」の育
成は極めて重要と捉え
ている。若者が地域課
題に関心を持ち、多様
な人々との関わりを通
して成長を実感できる
ような機会を創出する
とともに、若者が自信



録画配信はこちらから

を持って地域の一人と
して活躍できる環境づ
くりに取り組んでいく。
**少子高齢化が進む鹿角市
における「かかりつけ医
（総合診療医）」の配置と
地域医療の基盤づくり
について**

問 少子高齢化が進む
鹿角市だからこ
そ、かかりつけ医とし
て総合診療医の配置が
必要ではないか。

答 まず、かかりつけ
医と総合診療医は
切り離して考える必要
がある。その上で総合
診療医の育成が進んで
いないこともあり、現
時点で配置の計画はな
いが、医療ビジョンの
策定過程において、市
民や医療機関関係者等
の意見を伺いながら、
検討を進めていく。

質問した項目
■地域の未来を担う若者の政治参画を育む仕組みの構築について ■少子高齢化が進む鹿角市における「かかりつけ医（総合診療医）」の配置と地域医療の基盤づくりについて

松村 託磨 議員 (無会派)
質問時間 30分

問 より多くの歳入を確保するため、ふるさと納
税の増収にさらに注力する必要があるのでは。
魅力的な返礼品の開拓に努めるとともに、制度
本来の趣旨を具現化できるよう取り組みを進め
ていく。

答



歳入確保について

質問した項目
■歳入確保について ■歳出削減について
■医療環境について ■子育て環境について
■地域経済と雇用の最適化について

問 カーボンニュート
ラル達成後に余剰
数値分をカーボンク
レジットとして売り込む
ことができれば、市長
が掲げる国内外から投
資されるまちの実現の
一端となり、自己財源
に乏しい本市の財源確
保につながるのでは。

答 再エネ電力や森林
吸収クレジット等
の販売は外貨獲得の有
効な手段である。現在
最優先で取り組んでい
る域内のカーボンニュ
ートラル達成後、本市
が有する環境価値を域
外へ販売しながら外貨



録画配信はこちらから

獲得と地域活性化を図
っていく考えである。
**地域経済と雇用の最適化
について**

問 外国人材を確保す
ることは、地域の
経済や文化の今後の存
続を左右する大きな流
れであり不可欠な施策
と考える。定住までを
見据えた思い切った施
策を展開すべきでは。

答 外国人材の定住・
定着に向けた取り
組みは、労働力確保の
みならず人口増加や地
域経済活性化などの観
点から、本市において
も重要な施策と捉えて
いる。国の制度や市内
企業の状況を注視し、
関係機関と連携しなが
ら、引き続き必要な支
援策などを検討してい
く。

栗山 尚記 議員 (新時代かづの)
質問時間 60分

[議案第46号] 令和7年度一般会計補正予算（第2号）

- 問** (総務費国庫補助金) 「新しい地方経済・生活環境創生交付金」について、活用できる規模や交付金の限度額は。
- 答** 市区町村では1年度あたり10億円が交付金限度額として示されており、補助率は2分の1、ソフト事業のみならず、ハード事業にも活用することができる。
- 問** (まちづくり基金繰入金) 本基金を充当する事業は。
- 答** 花輪スキー場圧雪車修繕、並びに、水晶山スキー場圧雪車修繕及びペアリフト索輪改修工事等に充当する。
- 問** (公共施設解体基金積立金) 本基金を活用して解体を予定している公共施設は。
- 答** 移転後の旧十和田図書館の早期解体を予定しているほか、旧八幡平市民センター、旧自然休養村管理センターの解体にも本基金の活用を見込んでいる。

[7請願第9号] 再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情

「願意妥当と認め採択すべき」との意見や、「他の市町村議会の審議状況等を見極める必要があることから継続審査とすべき」との意見が出され、採決の結果「継続審査」とすべきものと決定した。

[議案第44号] 指定管理者の指定について（水晶山スキー場）

- 問** 3回目の公募において指定管理期間を短く設定した理由は。
- 答** 1回目、2回目ともに指定管理の期間を5年としていたが、応募がなかったことから、より参加しやすい条件とするため指定管理期間を1年9か月に短縮した。
- 問** スキー場経営としての収入が見込まれるが、経営を安定させ、指定管理者候補を増やしていくため、夏場の収益確保についての考えは。
- 答** 指定候補者からは、スキー場の運営の中で様々な展開をしていきたいという提案を受けており、夏場の利用についても今後協議しながら進めていきたい。

[議案第46号] 令和7年度一般会計補正予算（第2号）

- 問** (交流センター改修事業) 市として公共施設の縮減を課題とする中で、築40年ほどの交流センターを改修することとした理由は。
- 答** 公共施設の縮減については、公共施設等総合管理計画を定めており、計画に基づき進めてきているが、交流センターについては、行事や市民団体の会議等幅広く利用されていることから大規模改修を行った上で今後20年以上使用していく施設に位置付けしている。
- 問** (認可保育施設整備事業) 改修工事費を補正予算で対応する理由は。
- 答** 錦木保育園の空調設備の破損を令和7年2月ごろ確認し、そのほかの破損箇所を点検した結果、今定例会での補正対応となったものである。



改修を行う鹿角市交流センター

[7陳情第7号] 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情

「夫婦が結婚した際に女性が名字を変える比率が圧倒的に高く、晩婚化の要因の一つとして結婚後の手続きなどの煩雑さを挙げる声もある。また、戸籍制度への影響については戸籍とマイナンバーとの適切な紐づけにより記録の管理・活用は可能であると考え。この制度の導入は夫婦同姓を否定するものではなく選択肢を増やす概念であることから採択すべき」との意見がある一方で「現在の制度においても工作上必要があるのであれば、旧姓を通称として名乗ることは差し支えない。この制度の導入により日本がこれまで培ってきた戸籍制度が影響を受けることが懸念される」、また、「周辺の法律の整備が不十分であり、現時点では不採択と判断せざるを得ない」、さらには「家族の共通の姓がなくなることによって家族の一体感が壊れ家族の在り方が根本的に変わってしまうことが懸念されることから不採択とすべき」との意見が出され、採決の結果「不採択」とすべきものと決定した。

【議案第46号】 令和7年度鹿角市一般会計補正予算（第2号）



地域間交流広場にある東屋

問（観光施設費）地域間交流広場管理費について解体する施設は。

答 地域間交流広場はアスピーテラインの入口にある広場で、広場内にある東屋が老朽化していることから解体する。

問（道路橋りょう維持管理費）市道桃枝1号線が通行可能となる時期は。

答 官民境界について測量し、道路幅員が確定してからの着工となるが、今年中に仮復旧により通行が可能となる見込みである。

問（除雪対策費）補正額の財源内訳について、国県支出金から地方債に変更となった理由は。

答 市道湯坂線の融雪施設整備工事については、社会資本整備総合交付金を財源に充てる予定としていたが、内示額で減少した分を過疎債に振り替えるものである。

〈用語解説〉

◆債権（さいけん）

↓債権者（お金を貸した人）が、債務者（お金を借りた人）に対して、一定の行為を請求できる権利をいう。

◆デマンドタクシー

↓利用者の予約・要望に応じ運行するタクシー型の公共交通サービス。従来のバスのように決まった路線や時刻表がなく、柔軟な運行が特徴とされる。

◆日本版ライドシェア（にほんばんらいどシェア）

↓タクシー会社が運営主体となり、事業者が管理する地域の自家用車・一般ドライバーが有償で運送サービスを提供する制度。

◆造血幹細胞（ぞうけつかんさいぼう）

↓赤血球・白血球・血小板の元となる細胞のこと。

◆造血幹細胞移植（ぞうけつかんさいぼういしょく）

↓化学療法や放射線治療による移植前処置を行った後に患者本人またはドナーから採取した造血幹細胞を投与する治療方法。

◆スファイア基準（すふいあきじゆん）

↓災害や紛争の被害者が尊厳ある生活を営むための人道支援活動においての最低基準のこと。

◆緩衝帯（かんしゅうたい）

↓野生動物と人間社会の生活圏の間に設けられる見通しの良い空間のこと。山林と農地の間に草刈りや伐採を行うことで動物の侵入を防ぐ等の効果がある。

◆メタバース（めたばーす）

↓インターネット上に構築された多人参加型の仮想空間を指す。使用者はアバター（自分の分身）を介して他者と交流したり、様々な体験をすることが可能。

◆えるぼし認定

↓女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が

優良である等の要件を満たした事業主が都道府県労働局へ申請することで受けることが認められること。

◆こども誰でも通園制度（こどもだれでもつうえんせいど）

↓国の「こども未来戦略」に基づき、新たに創設されることとなった制度。保護者の就労状況にかかわらず、0歳6か月から満3歳未満の未就園児が保育施設を利用できるようにする。

◆選択的夫婦別姓制度（せんたくてくふべつせいせいど）

↓夫婦が望む場合であれば、結婚後も夫婦それぞれを認める制度。それ以外の結婚前の氏を称することを認める制度。

◆指定管理者（していかんりしや）

↓地方公共団体が公的施設や管理団体の運営を委託する体制を指すこと。指定を受ける団体

7月5日、鹿角市交流センターを会場に、今年度第1回目となる市民と語る会を開催しました。

今回は、青垣山の自然と景観を守る会より事前に設定いただいた「上沼地域の風力発電計画について」をテーマに参加者59名と議員12名を加えた71名で意見交換を行いました。



今回、出された意見については各議員の今後の議員活動の参考とさせていただきます。(今回の市民と語る会の詳細につきましては市ホームページへ掲載しております。また、下記二次元コードを読み取ることでご覧いただけます。)

全員協議会

6月18日、鹿角市人口ビジョンの改訂について説明を受けるため、全員協議会を開催しました。

今年8月に改訂となる鹿角市人口ビジョンについて及び令和6年度に実施した若者アンケートの結果について執行部より説明を受けました。

議員からは前回の人口ビジョンの見直しに関する総括や、近年の若年女性の減少の原因について質問が出されたほか、若者に魅力のあるまちづくりをどのようににするかも、質問として出されております。

また執行部に対し、人口ビジョンの記述の中でももう少し対策を強調して市民に周知することを求めています。

市ホームページ
↓
鹿角市議会
↓
市民と語る会
↓
市民と語る会
開催結果



議員永年勤続表彰

全国市議会議長会第101回定期総会において、田村富男議員が25年、浅石昌敏議員が20年にわたり、市政の振興に尽くされた功績により特別表彰され、定例会最終日の6月27日に表彰状の伝達が行われました。



執行部より説明を受ける議員
(6月18日 全員協議会)



議会中継はこちらからご覧ください

市ホームページ
↓
鹿角市議会
↓
議会中継
↓
ライブ配信
↓
議会中継
(外部サイト)



または



市ホームページ(鹿角市議会)から議会中継へ

スマートフォン等で二次元コードをスキャンして議会中継

編集後記

今回、「ぎかいだより」の編集後記を初めて担当しました。

6月定例会では初の一般質問に挑戦し、議員としての責任や準備の重みを実感しました。調査・確認を重ね、市民の声を言葉にする中で、多くの学びがありました。

広報委員会副委員長として、「正確に伝えること」はもちろん、まず手に取ってもらえる紙面づくりを目指しています。議会に距離を感じていた方にも、ふと目に留まり、思わず読みたくなるような内容を届けていきたいです。

今後も議会が市民にとって身近な存在となるよう努めてまいります。ご意見・ご感想もぜひお寄せください。(松村)

議会広報委員会

- 委員長 赤坂 勲
- 副委員長 松村 託磨
- 委員 宮野 和秀
- 委員 兔野 祐一
- 委員 佐藤 大介